


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道24号 <small>やまごせ</small> 大和御所道路		事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：奈良県大和郡山市伊豆七条町 <small>やまごおりやま いずしちじょう</small> 至：奈良県五條市居傳町 <small>ごじょう いで</small>		延長	27.2km
事業概要 国道24号は、京都市を起点とし、奈良市を經由して和歌山市に至る延長約140kmの主要幹線道路である。大和御所道路は、京奈和自動車道の一部として、広域的な都市圏の活性化、国道24号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び生活圈・活動圏の拡大による地域の活性化を図ることを目的とした延長約27.2kmの高規格幹線道路である。			
S47年度事業化	S48年度都市計画決定 (H3年度,H8年度変更)	H4年度用地着手	H6年度工事着手
全体事業費	約4,600億円	事業進捗率	53%
計画交通量	51,800台/日	供用済延長	7.8km
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 6.3 (残事業) 9.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 1,772/5,009億円 事業費：1,524/4,760億円 維持管理費：249/249億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 15,890/31,361億円 走行時間短縮便益：15,208/30,154億円 走行費用減少便益：551/989億円 交通事故減少便益：132/218億円
基準年	平成18年		
感度分析の結果 残事業（事業全体）について感度分析を実施 交通量変動：B/C=7.2(交通量+10%) B/C=10.1(交通量-10%) 事業費変動：B/C=8.3(事業費+10%) B/C=9.8(事業費-10%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される） ・安全で安心できるくらしの確保（橿原市にある直近の三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる）他17項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 大和御所道路は、京都・奈良・和歌山間の広域連携強化、交通渋滞の緩和、地域の活性化等に重要な役割を果たすことが期待されており、奈良市をはじめとする京奈和自動車道整備促進期成同盟会等により、早期完成の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 大和区間は、専用部の部分供用により、渋滞が緩和されているが、御所区間では、自動車保有台数の増加もあり、依然、渋滞している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率は全体で86%完了しており、大和区間においては平成18年4月に専用部7.8kmを部分供用したところである。今後は残用地の取得を進めるとともに、平成18年度より御所区間の工事に着手したところ。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 既供用区間では、用地買収に伴う公図訂正、用地取得難航箇所での土地収用法に基づく手続きの実施、全線に渡っての埋蔵文化財調査に期間を要した。残区間についても、用地買収、埋蔵文化財調査、設計協議等関係機関との調整を行い、円滑な事業推進に努め、早期に整備効果が発揮できるように、段階的整備を図る予定である。			
施設の構造や工法の変更等 専用部既供用区間では、PC合成桁の適用や機能分離型支承等、新たな工法の採用や現場内における施工の工夫等によりコスト縮減を図っている。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。